

平成 31 年 1 月 29 日

海事局 船舶産業課

～ インドのシップリサイクルヤードが大きく改善 ～ 海事局が条約適合に向けたヤード改善状況を現地調査 ～

国土交通省が 1 月 16 日から 18 日に実施したインドのシップリサイクルヤードの現地調査において、シップ・リサイクル条約締結に向けて、労働安全及び環境保全を目的とした施設改善等が大きく進んでいることが確認されました。

我が国は、これらのインドの取組みを後押しするため、引き続き支援して参ります。

- 国土交通省海事局は、平成 31 年 1 月 16 日（水）から 18 日（金）に、インド・グジャラート州アラン地区及びソシヤ地区のシップリサイクルヤードについての現地調査を行いました。
- 当該地区のリサイクルヤードでは、近年シップ・リサイクル条約の要件を踏まえて改善の取組みが進んでおり、最も先進的なヤードでは、廃油や汚水等の漏出防止措置等の適切な施設改善がなされ、労働安全面でも作業者のヘルメット、ゴーグル、マスク等の着用が徹底されています。
- 我が国は、これらのインドの取組みを後押しするため、ODA 事業の実施も含め、インドのヤード改善を引き続き支援して参ります。

条約適合ヤードの施設改善事例



環境保全・労働安全のため整然としたヤード



砂浜・海水に油濁物を接触させないように改善



【問い合わせ先】

海事局 船舶産業課 国際業務室 居石、太田

TEL : 03-5253-8111 (内線 43-654、43-635)

TEL : 03-5253-8634 (直通) FAX : 03-5253-1644

1. 調査概要

- 日時 : 平成 31 年 1 月 16 日 (水) から 18 日 (金) まで
- 調査参加者 : 国土交通省海事局、(一社) 日本船主協会、(一財) 日本海事協会ほか
- 視察・面談先 : ・グジャラート州海事局
・インド解撤事業者協会
・アラン地区及びソシヤ地区シップリサイクルヤード (7 ヤード)
・労働者安全研修センター
・労働者居住施設
・巡回診療車
・有害廃棄物処理施設 等

2. 調査結果

①. ヤードの改善状況 (別紙 2 参照)

- ・ インドのリサイクルヤードでは、日本海事協会をはじめとして各国の船級協会が実施しているシップ・リサイクル条約要件への適合性認証の取得の動きが進み、現在までに 23 ヤードが日本海事協会の認証を取得している (更に 7 ヤードが申請中)。
- ・ 環境保全の観点では、砂浜及び解体船舶上を含む解体作業エリアにおける廃油・汚水の流出防止のための施設改修及び解体手法が導入され、労働安全の観点では、構内及び作業手順における安全対策や労働者訓練が実施されている。
- ・ 最も先進的なヤードでは、解体作業エリアのコンクリート敷設による非浸透床化や廃油等の漏出防止措置等が整備され、重量物吊上げクレーンも複数導入されている。また、安全管理面でも個人用保護具着用の徹底等が図られている。
- ・ 安全と環境に配慮した競合差別化を目的として、その他のヤードにおいても追随して改善に取り組む動きが強まっている。

②. 公共施設・サービスの整備状況 (別紙 2 参照)

- ・ グジャラート州海事局等により、労働者の安全研修センター、労働者居住施設、巡回診療車、有害廃棄物処理施設などの整備が進んでいる。また、労働組合も安全研修センターを設立し安全講習を実施している。

③. 州政府、解撤事業者協会、労働組合との面談結果

- ・ 各者より、世界最大の船舶解体国として、官民が連携し、ヤード改善の取組みを引き続き強力で推進していく意向が示された。

1. インドのヤード改善状況

○ 条約適合ヤードの施設改善事例

1990年代のヤードの様子

雑然としたヤード。
労働者の安全対策も不十分。



砂浜での解体作業。



条約適合の先進ヤード事例

コンクリート敷設のうえ、作業・蔵置箇所を区画整理した整然としたヤード。重量物吊上げクレーン等も導入。



砂浜・海水に油濁物を接触させない施設・解体方法に改善。



解体船舶内も安全通路・柵等の労働安全対策を実施。



○ 油濁・有害廃棄物分離蔵置

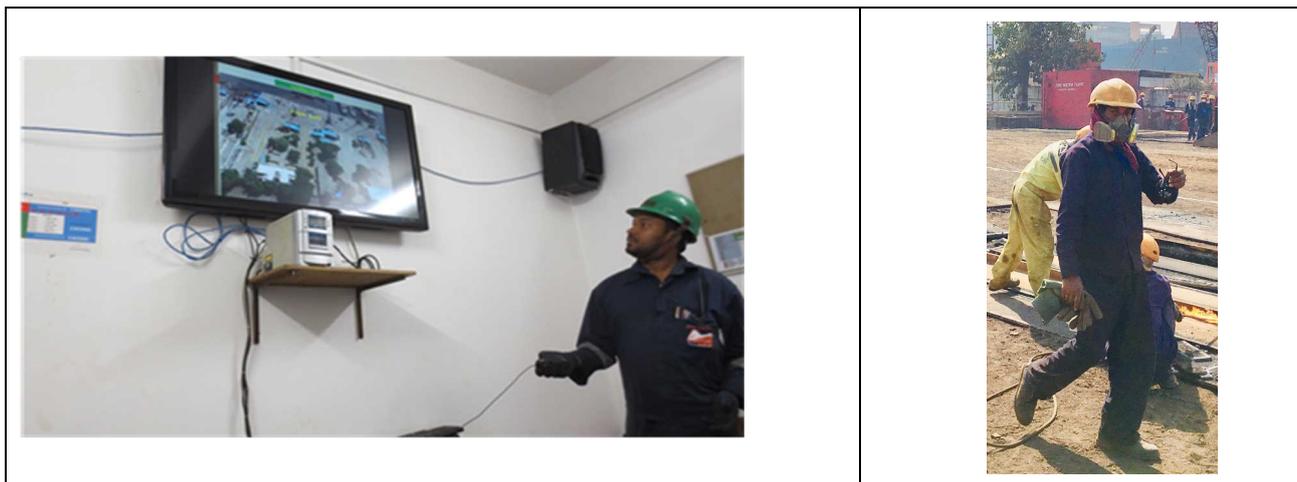
油濁・有害廃棄物の分離蔵置区画設置。



油濁物、アスベストなど有害物質
ほか、プラスチック、ゴムなどの
廃棄物も部屋ごとに分別蔵置。

○ 安全対策

入構者講習実施。入構者及び労働者のゴーグル、マスク、ヘルメット、軍手着用を徹底。



2. 労働者への公共施設・サービス

○ 公営安全研修センター（グジャラート州海事局（GMB）設立）

就労条件として労働安全関連の講習・基礎訓練を必修化。



○ 労働組合安全研修センター

労働組合の活動として労働安全・衛生の講習を実施。日本基幹産業労働組合連合会が、建設費用の一部、教育プログラム作成等を支援。



訪問時は女性委員会合を開催中。

○ 巡回診療車（GMB支援、インド解撤事業者協会（SRIA）及びインド赤十字運営）

1ヤード15日周期で巡回回診。診察は無料。



○ 有害廃棄物処理施設（GMB設立）

廃油・汚水など有害廃棄物は適切に処理。

焼却炉



埋立て処分場（土壌浸透防止措置あり）



○ 労働者居住施設（GMB、SRIA等により設立）

7棟 約1000人を収容可能。食堂、ショッピングセンターもあり。

